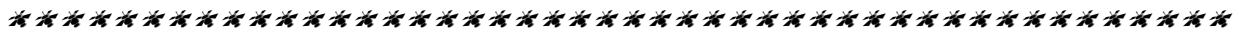




とつか

2015年4月会報 第246号

- 国際会長 (IP) Isaac Palathinkal (インド)
- 2014 主 題 “Talk less, Do more” 「言葉より行動を」
- スローガン “Do it Now” 「今すぐやろう！」
- アジア地域会長 (AP) 岡野泰和 (日本・大阪土佐堀)
- ~ 主 題 “Start Future Now” 「未来を始めよう、今すぐに」
- スローガン “One Asia One World” 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 2015 東日本区理事田中博之「誇りと喜びを持って」 “With Pride and Pleasure”
- 湘南・沖縄部部長 峯尾 舜 「一人は皆のために 皆は一人のために」
- クラブ会長 吉原 訓 「ゆっくり・楽しく 社会に奉仕」
- 主 題 副会長 浦出昭吉 書記 小俣妙子 会計 渡邊 寛
- メネット事業 吉原和子 担当主事 長田光玄



会長ひと言

吉原 訓

~ゆっくり自然体で~

ワイズの先輩の言に「会長ひとこと」は「会長のひとりごと」でいいんだ、というのがありました。何を記述しようか悩んでいた時、ほっとした気持ちになりました。

私は 長い間クレ射撃を嗜んでいます。

掛け声と共に素焼きのお皿が飛び出し 散弾銃で撃ち落とす競技です。20代半ばからの10年間、週に4日はクレ射撃場にいました。週末になると、関東地方のどこかの都県で、公式戦に出場し、9割以上の率で3位以上の入賞は度々のことでした。

その後 横浜市議員として働かせていただいた20数年間は、たまにしか射撃場に出かけることができませんでしたが、今また 射撃場行きが復活しています。

年も重ね 昔のような成績は望めません。

しかし 澄んだ心で撃つこと、周囲に惑わされずに撃つこと、余分な力を入れずに引き金を引くことはできるようになりました。

私は「ゆっくり・楽しく社会に奉仕」をモットーに会長職を務めています。

奉仕は誰かの為にするものではなく、人がどのように見るのか気にするのではなく 自然体で奉仕することにしています。

◎今月の聖句◎

門番は羊飼いは門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れだす。自分の羊をすべて連れだすと、先頭に立って行く。羊はその声を知っているので、ついて行く。

—ヨハネによる福音書10章3~4節—

イエスと人間の関係は、羊飼いと羊に譬えられます。聖句には、しばしば「羊飼いは」が登場します。羊は、ただ受け身に留まることなく、羊飼いの言葉を聴き分け、自分からついて行くという主体性を持ち合わせていることに気付きます。羊が羊飼いの声を聴き分けてついていくようになりたいものですね。

強調月間 LT

LTはLeadership Trainingの略で、会員の資質向上を目的とした開発・研修を意味します。先ごろ東山荘で行われた区主催の“次期クラブ会長・部役員研修会”などもその一例で、区に限らず、部としても またクラブとしても、それぞれに、この種の研修を行うことが最近の傾向となっています。また、部や区に頼ることなく、自分自身で心掛け、いわば自己啓発を図ることも LT に繋がるといわれ、日ごろ 例会などでの卓話者の選定や例会を盛り上げる工夫等も 自己啓発への大きな要素とされているようです。

3月在籍者数	3月出席者数	出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOF・A S F	Y E S	ロ	バ
会 員	12	メ ン	11	92%	他	(円)	(g)	(円)	(円)	(円)	(円)
メネット	2	メネット	4		前月迄		0	7kg	0	0	35,481
		ゲストら	0		当 月		0	0	0	0	0
計	14	合 計	15		累 計		0	7kg	0	0	35,481

☆第1例会～鎌倉クラブとの合同例会～報告☆

吉原 訓

日時：3月14日(土) 17:00～21:00

場所：鎌倉・由比ヶ浜 ゲストハウス‘蕾の家’

出席者：(ゲスト) 池田会長のご家族の皆さん (3名)

(ビジター) 千葉裕子さん(厚木)、

一とつかからの参加者一

(メ ン) 吉原、加藤、川津、小俣、若木

(メ ネット) 佐藤、杉本、加藤、若木 計9名

3月14日(土)、鎌倉・横浜とつか両ワイズメンズクラブの合同例会一通称‘わかめ例会’が鎌倉クラブの皆さんの中心のお働きで開かれました。

江ノ電の鎌倉駅ホームで待ち合わせ、二駅目 由比ヶ浜駅で下車、会場の‘蕾の家’に向かいました。古都鎌倉は、裏通りも家の一軒一軒が鎌倉らしいたたずまいです。

開会セレモニー、食前感謝のあと、池田会長ご一家が挙げて支度して下さったワカメにお魚やお野菜のたっぷり入った鍋料理、アルコールも添えられ、大変に美味しく頂き、そして大いに場も盛り上がりました。



卓話は 鎌倉田中義宣ワイズの「戦後70年を迎えて」です。田中さんは1932年(昭和7年)牧師さんの家に生まれ、1945年(昭和20年)に玉音放送を耳にされ 1951年(昭和26年)に東京 YMCA に入職されたそうです。そしてひとしきり自己紹介された後は、世界の歴史やYMCAの歴史についてのお話を聞かせていただきました。そして後半、主論となる部分では、“日本は 戦争への道を再び歩み始めている” “戦後70年を迎え 沖縄から米軍基地を無くし、日本から自衛隊という軍隊も無くさなくては行けない” と熱っぽく私たちに語り掛けられ、また 何人かからも感想などが述べられました。気が付けば 早や閉会点鐘の予定時刻となり、お互いに感謝の言葉を交わし合い ご挨拶をして 熱気冷めやらぬ会場を後にし 家路へと向かいました。

世界中からあらゆる暴力を無くすことの難しさや その取り組みについて考えさせられたひと時でした。



☆第2例会報告☆

加藤 利榮

日時：3月17日(火) 18:30～20:00

場所：湘南とつかYMCA 204号室

出席者：(メン) 浦出、大高、長田、加藤、小俣、土方、若木、渡辺慶子

(メ ネット) 佐藤、杉本、加藤 計11名

【報告】

- ① 第1例会‘わかめ例会’：3/14(土) (左欄に掲載)
- ② 第68回YMCA-Y's協議会：3/3(火) (下欄に掲載)
- ③ 次期会長研修会：3/7-8・東山荘 (3ページに掲載)
- ④ BF切手について：3/7に7kgを事務局に提出した。
- ⑤ YMCAから：3/8(日)・大震災復興支援イベント 湘南とつかYホールほか (3・4ページに掲載)

【協議・確認事項 ほか】

- ① 厚木大会登録の件：宿泊・エクスカーションの2点を煮詰める。
- ② 4月例会の件：4/18(土)・吉原会長宅、第1例会振替え
- ③ アジア大会参加の件：小俣ワイズが参加の意向
- ④ YMCAから：15年度‘うたごえ広場’の日程が決まった。

【当面の日程について】

- ① 5/22(金)～23(土)：森の家研修(横浜クラブ)
- ② 5/30(土)：横浜YMCA 会員総会(湘南とつかY)
- ③ 6/2(火)：第69回YMCA-Y's協議会

☆第68回YMCA-Y's協議会から☆ 若木 一美

この協議会、吉村恭二さんが総主事の時代にクラブ会長との懇談会を開催して以来20年近く…、よく続いています。

今回は、公益法人として歩み始めた横浜YMCAの現状を田口総主事から卓話の形で伺いました。

平成20年12月、「民による公益の増進を目指して」を旗印に平成の法人改革が始まりました。5年間の期間に移行を完了する制度です。横浜YMCAは平成24年に公益財団法人となりました。移行してからの3年間、事業体系に変化はないものの、公益目的、収益事業の区分や会計区分、事業比率等々運営する事務管理は作業量が増えたようです。(横浜YMCAは、この他にも3つの法人格と任意団体をもつ複雑な組織ですので 事務方のご苦勞は大変だと思います。筆者の声)

その中で、YMCAでなければなし得ない幾つかの事業も当然のことながら有って、例えば 募金やボランティア活動による、経済的に困難な子どもへの支援には行政からは高く評価されている。また、近年 行政の肩代わりをする事業が多くなってきているが、これは世界的傾向のようだ。今期、トータルの事業収入は57億程度が予測されているが、全国的に見てもYMCAとしてはトップクラスだ、借入金の返済も着実に減少してきている。2018年からの年齢層の変化と、施設の老朽化等々を念頭に、今後における事業内容の再編や計画的な施設の改修等、新たな課題に挑戦するので、ワイズの皆さんにも是非ご協力をお願いしたい…、と結ばれました。

山田理事長の‘明大昭平事務所’の様に、私たち支援者も世代を超えて知恵と力を出し合いたいものです！

☆次期クラブ会長・部役員研修会に参加して☆

吉原 訓

3月7～8日、東山荘で 東日本区次期クラブ会長・部役員研修会が行われました。春とは名のみの寒空の中です。

10時に加藤ワイズ宅より浦出次期部役員と3名で会場に向かいました。せっかくの御殿場ということで 東山荘での昼食を断わり、直ぐ近くの「とらや工房・旧岸邸」で食事を楽しみました。自然の林を生かした広大な庭園を眺めながらの



「釜めし」は、とても美味しかった（すみません）。

定刻 13:30、威勢のいい開会点鐘で研修は始まりました。

研修Ⅰでは、① 東日本区の現状について

② YMCA理解と支援報告

③ 東日本区次期理事方針について

でした。

小憩後の研修Ⅱでは、元日本区理事 岡本尚男氏の基調講演「ワイズメンのリーダーシップに期待するもの」というタイトルの大変面白い内容の講演がありました。

● クラブを存続させるための必須条件として、クラブは人を育てることが大切、人を育てるには、継続的に新入会者を入れないと、クラブはワイズメンズクラブ的「仲良しクラブ」になり、誰も入会しないクラブでは年とともにいずれば解散せざるを得ない。

● 漫然としたクラブ運営はクラブの崩壊につながる。

● クラブの会員数は30名以下にしない。20名以下はクラブといえない。

頭と耳の痛いお話を頂戴しました。YMCAやワイズメンズクラブに精通した大ベテランのお話は目標として、しっかり心に刻むべきことと思います。

次の研修会での要望を あえてさせていただくとすれば、どのように一般の方がYMCAやワイズメンズクラブを外から見ているかのお話しなども聞きたいと思いました。

この度の研修会は 私が中学の時の林間学校で、東山荘に宿泊し 東山湖で泳いで遊んだ記憶が懐かしくよみがえる機会でもありました。



☆佐賀 AIDS フォーラムに参加して☆

小俣 妙子

2月21日(土)から22日(日)にかけ 佐賀で初めて開かれた「佐賀 AIDS フォーラム」に、前日の20日に家を出発して参加してきました。やはり「さが」は思っていたとおり遠かったです。

第1回ということで 講座の数も少なめでしたし、参加者数もイマイチといった感じがしました。

私は、おもに「横浜ブース」と、「カトリックのブース」をお手伝いさせていただきました。

講座では、

① 中谷豊実先生 (ケアリングボッチ & アダムス)

道化師として 小児科やホスピス病棟でのボランティア活動の状況、現役の教師として 学生さんを巻き込んだ現場でのご体験や活躍ぶりをご説明いただき、すでに京都でのフォーラムの際に先生の講座を受けていたこともあって、楽しく参加することができました。

② 洪 久男さんと古川潤哉さん (浄土真宗の僧侶)

このお二人は、横浜ではすでにお馴染みですが、もちろん佐賀はこのお二人も初めてで、洪さんが 感染をカミングアウトした後の16年間を振り返りながらの対話は大変興味深く、カミングアウトすることはやはり尋常でないことがよく理解できました。

③ 佐々木亮平さん (岩手医大教師・保健師)

東日本大震災後の陸前高田市におけるエイズ運動の実情報告があり、今年は是非に…とのお誘いまで受けました。

・・・などなどでしたが、初めにも書きましたように「さが」はちょっと遠すぎましたが、折角来たのだからと、佐賀の街や唐津名物の「おひな祭り」なども見物して帰りました。

☆大震災復興イベントから☆

佐藤 康子

今年で4回目となる『東日本大震災復興支援チャリティーコンサート～Heart to Heart～』がお天気にも恵まれた3月8日(日) 湘南つつかYMCA1階ホールで開かれ、街頭募金の方はメンにお任せして、16時からのコンサートに参加しました。会場内には、杉本さん、小俣さん、渡辺慶子さん、そして加藤メンの顔も見えます。

第1部では すでにお馴染みとなった生明麻衣子さんのフルート、井上八世以さんのヴァイオリン、そして嶋田郁子さんのピアノの3重奏で、春に因んだクラシック中心の曲が演奏され聞き入りました。続いて第2部、こちらもお馴染みの「kaho」さんのポップス、会場からは期せずして手拍子が起り湧き上がりました。そして18時過ぎ、いつ尽きるともしれない盛り上がりの中、幕となりました。



～YMCA 便り～

担当主事 長田 光玄

☆東日本大震災から4年、被災地の復興を願い…☆

東日本大震災から4年が経ちました。今年も3月8日(日)、東日本大震災復興支援イベントとして午前中に親子イベント、「すずめ踊り」の披露、午後には戸塚区にゆかりのある音楽家の方々による「チャリティーコンサート」、そして、午前・午後に分かれて「街頭募金」を実施しました。「すずめ踊り」では、仙台から宝山連の皆さんを招待し、演舞していただきました。迫力のある踊りとお腹の底まで響く太鼓の音は、私たちの心に強く残りました。また、街頭募金では、100名を超える仲間にお願ひしご協力いただき、寒空の中、大きな声を出して募金を呼び掛けました。募金総額は 332,494円となりました。ワイズの皆さんを始めYMCAに連なる私たちは、これからも被災地を思い、苦しみの中におられる方々に寄り添い、心からの復興を願って活動してまいります。



☆今月の歳時記から☆

‘菜種梅雨 なたねつゆ’ と ‘春の宵 はるのよい’

‘菜種梅雨’、菜の花の咲く頃は、とかく雨や風が多い。本来の意味は、春に吹く東南の大風を指しているようです。とかく菜の花は風に弱く、この梅雨が長く続きますと菜種の不作を招き、農家を慌てさせる風とも言われています。

唄わねば夜なべさびしや菜種梅雨	暁 水
菜種梅雨負け犬去りてわれ佇ちぬ	稚 魚
昼汽車のひと日の空費菜種梅雨	信 子
菜種梅雨子の大足が家歩む	由太加

次に‘春の宵’。蘇東波の詩句に「春宵一刻値千金、花に清香あり、月に陰あり」とありますように、春の宵はまさに“千金の夜”ですね。明るく艶めいた響きがあり、そこはかたなく感傷を誘う、浪漫的な雰囲気が感じられます。春の夜のまだ更けない頃を表し、春の夕べよりはやや遅く、春の夜よりはやや早いといった頃でしょうか。

筋違にふとん敷きたり宵の春	蕪 村
肘白き僧のかり寝や宵の春	蕪 村
養生の酒食に出ず宵の春	碧梧桐
眼つむれば若き我あり春の宵	虚 子

(中)

☆4・5月の行事予定 ☆

- 4/6(月) 区大会実行委員会(厚木Y・18:30～)
- 4/18(土) 第1例会(竹の子例会・会長宅 11:00～)
- 4/21(火) 第2例会(湘南とつかYMCA・18:30～)
- 5/9(土) 第1例会(湘南とつかYMCA・18:30～)
- 5/11(月) 区大会実行委員会(厚木Y・18:30～)
- 5/19(火) 第2例会(湘南とつかYMCA・18:30～)
- 5/22-23 ‘森の家’研修(上郷 森の家・15:30～)
- 5/30(土) 横浜YMCA会員総会(湘南とつかY)

～4月の例会のご案内～

第1例会：竹の子例会

4月18日(土) 11:00～ 15:00

会 場：吉原会長宅

～下欄 ‘お知らせ’ 参照～

第2例会：21日(火) 18:30～20:00

～湘南とつかYMCA 204号室～

当面の確認事項、その他重要案件について協議しますので、ご出席願います。

～Happy Birthday～

渡辺慶子さん 4月13日

川津政義さん 4月17日

長田直美さん 4月23日

～お知らせ～

会 長

◎ 4/18(土)の‘竹の子例会’について
△吉原宅に軽装で11時頃までにお集まりください。(晴雨にかかわらず、また履物・道具はご用意いたします。)

△JR 戸塚駅(東口)バスセンターから『見晴橋行』か、『下倉田循環』(交番前・①乗り場・江ノ電バス)乗車、(10分)後「下倉田中央」下車・20メートルほど戻り、道路を横断した角、徒歩1分。

◎ ‘BF 使用済み切手の整理と提出’ について

2月26日(木)、渡辺慶子ワイズ宅に土方ワイズ、吉原・杉本両メネット、それに加藤夫妻の計6名が集まりほぼ1日かかりで切手の整理をしました。測ったら7キロに達しました。先ごろ東山荘にお持ちし、事務局に提出しました。ご苦労様でした。

◎ 年賀はがき当選切手抛出者

小俣ワイズ：3シート

吉原メネット：3シート

加藤ワイズ：5シート

ありがとうございました。

(後記)

昨3/23日に東京で開花宣言がありました。いよいよ春本番ですね。 (R)

